



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：鈴木 富雄
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpc@ayume.jp
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.49 (2025.9)

報告：第38（最終）回 プライマリ・ケアを語ろう・おおさか 勉強会

外山 学(益田診療所：門真市)

学会の大阪地区勉強会「プライマリ・ケアを語ろう・おおさか」第38回の会合が、8月31日、大阪市内で開催された。同会は大阪の会員間の交流を趣旨に2000年に発足、参加者が対面で語り合うことを重視し、参加型・体験型を指向した勉強会を開催してきた。2005年8月の第11回勉強会からは、管理栄養士の熊代千鶴恵先生とリーガロイヤルホテルの料飲部に依頼した健康ランチの提供と懇談がひとつの柱となっていた。

COVID-19感染拡大以降、対面と会食というこの会ならではの活動が大きく制限され、その間、世話人の高齢化が進んだ。一方で、大阪府支部活性化の見通しが立ったことから、所期の目的は果たしたとの判断に至り、今年を最後に解散が決定していた。



最終回となる今回は、6年ぶりに復活した健康ランチからスタートした。テーマは「一汁一菜」。簡素な献立ながら、長い歴史の裏打ちがあり、誰もが作ることができ、災害食としても応用しやすい特徴がある。12の学会等が推進しているスマートミールにも通じる。鯖の塩焼きと実たくさん味噌汁、もち麦ご飯を中心にしたメニューは集大成にふさわしく、参加者に好評であった。

続いて行われた勉強会のテーマは「プライマリ・ケアの課題 ～次世代に伝えたい、遺したい、託したいもの」。

梶山泰男代表世話人が「後進へのメッセージ」と題して講演、食習慣の変化と食料安全保障、大学紛争(医学部改革など医療激動の時代を生きる)の歴史記載の必要性、被災地サイクリングで気付いた災害からの教訓と対策、OECDとの対比、DPC診療とクリティカルパス、医療DXにおける問題など、新たな気付きを得られる示唆深いものであった。それを受けたグループディスカッションでは、この会らしく、幅広い話題で世代を超えて活発に語り合いがなされた。

その後、梶山代表を会の世話人が囲んでの座談会に移った。戦後生野菜が食されるようになった背景、メンタルの強化法、プライマリ・ケアを志す後継者の育成、フィンランドの医療政策やドイツの食事情など話題は多岐に渡り、フロアを交えてやり取りが行われた。時に脱線したかに見えるほど大きく展開しながらも、人間を総合的に診ることの重要性が強調されるなど、緩くて楽しくも熱い、この会ならではの空気に包まれた。

最後に、本会の思いを大阪府支部に引き継ぐセレモニーが行われ、挨拶の後、鈴木富雄支部長から梶山代表に花束が渡され、最終回を終了した。



特集 1：近畿の話題（今回は兵庫から）

兵庫県支部主催『Hyogo GP Impact Forum』のお知らせ

合田 健（神戸大学/神戸市）

神戸大学医学部附属病院の合田です。ここ数年「兵庫県総合診療医・家庭医の集い」と題して年に1回兵庫県で従事しているプライマリ・ケア医の交流の機会を兵庫県支部で企画してきました（文末に過去のニュースレターでの報告を載せています）。今年度は神戸大学在学生の「兵庫のプライマリ・ケアをもっと盛り上げたい！」という声に、卒業生も関わっていただき、2025年10月26日（日）に『Hyogo GP Impact Forum』を実施することになりました！

兵庫県内で活躍するベテラン指導医から若手医師まで幅広く総合診療医が集い、高校生、医学生、研修医を対象に、兵庫県の地域医療や総合診療について体験し、感じ、考え、対話し、議論する場を用意しています。現場見学、症例の追体験ワーク、キャリアワークと、多様な学びを多世代で、深めていきます。

本会は3部構成です。

- ①川崎病院/はっぴーの家ろっけん（介護付きシェアハウス）見学
- ②臨床の追体験ワークショップ
- ③キャリアワークショップ

【日程】2025年10月26日(日)

【会場】神戸大学医学部楠キャンパス研究棟E1階 ラーニングコモンズ

【定員】80名

【対象】高校生、医学生、医師をはじめ、プライマリ・ケアに関わっている方々

【申し込み】2025年9月30日 締切（先着順、定員に到達次第終了）

【登録フォーム】 <https://forms.gle/VNRFhinApbh9n7fv7>

【参加費】 無料（交通費は実費で各自負担、高校生・医学生は懇親会も無料、医師は数千円の支払いをお願いします。）

はっぴーの家ろっけん（介護付きシェアハウス）

<https://helpmanjapan.com/article/8161>

冬セミ 2024 全体講演「私たちのケアについて考える」もご覧ください

【シンポジウム】全体講演『私たちのケアについて考える』前編【#冬セミ 2024】

【シンポジウム】全体講演『私たちのケアについて考える』後編【#冬セミ 2024】



主催：日本プライマリ・ケア連合学会 兵庫県支部 協力：GP Impact Hub
会場：神戸大学医学部楠キャンパス研究棟E1階 ラーニングコモンズ



私たちはどんな医師に
なりたいたいのでしょうか

神戸大学の現役医大生・卒業生と
兵庫県内の総合診療医が企画する
本会は、高校生・医学生・医師と
幅広い世代が集い、現場見学から
臨床の追体験、キャリア形成と
多様な学びのある会にしました。

医療や医学部に興味がある高校生
総合診療やキャリアに興味がある
医学生や若手医師の皆さんに
ぜひいらしていただきたいです。



企画運営
橋本 麻里奈
神戸大学医学部 6年生

第一部
病院/介護付きシェアハウスの見学
川崎病院/はっぴーの家ろっけん

第二部
医療現場のリアルな命の物語を
ワークショップで追体験する会

第三部
私たちはどう生きたいのか？
キャリアや生き方を考える会



後援：神戸大学地域医療教育学部門
神戸大学医学部附属病院 総合内科
川崎病院/株式会社Happy

お問い合わせ
お申し込み



企画協力：GP Impact Hub（一般社団法人 MATSURI）

問い合わせメールアドレス（shota_yamaji@gphub.org）

過去の兵庫県総合診療医・家庭医の集い（近畿ブロック支部ニュースレターから）

第2回 [81a72cc2bfa97dfb62794ae075b713c4.pdf](#)

第1回 [kinnki_12](#)

総合診療医が、小病院で勤務したら

内堀 善有(ふくやま病院内科(総合診療科)/明石市)

はじめまして、4月から、明石市のふくやま病院で、勤務している内堀です。昨年まで、三重県で勤務していましたが、両親も、高齢になり、関西出身ですので、関西に戻ってきました。

今回は、自己紹介も兼ねて、「総合診療医が、小病院で勤務したら」というテーマで、お話ししたいと思います。

ふくやま病院は、緩和ケア病棟を持つ約90床の小病院です。常勤医師が、外科系5名、内科系4名、外来担当も非常勤医師数名で、運用されています。

そもそも、譜久山 剛院長が、CHL(コミュニティ・ヘルスケア・リーダーシップ学科)の先輩で、医師自ら地域に出ていく地域医療を実践されていることに魅力を感じて、勤務を決めました。

僕の仕事は、訪問診療、内科系外来を担当しつつ、入院患者を10名前後担当しています。また、月に1,2回、当直があります。

地域に出る活動としては、社会福祉協議会チームと連携し、西明石地域での院長と前院長のACPを普及させる活動を引き継いだ形で、ACP普及+対話のイベントを行っています。

外来は、生活習慣病の方のフォローは、もちろん、他院に通院中の方が1.5次救急っぽく、受診したり、普通の風邪の方やちょっと不安の高齢の方が、受診します。関節エコーで、膝の偽痛風を診断したり、民生委員さんと受診した方のご家族と連絡を取って、介護サービスの相談をしたり、先日は、橈骨遠位端骨折の対応も、ありました。家庭医っぽいでしょうか？

入院は、急性期病院を支援する形で、亜急性期疾患や整形術後の方を地域包括ケア病棟で、末期がんの方を緩和ケア病棟でみています。

個人的な当面の課題は、急性期病院の負担を減らすべく、軽症～中等症の患者対応を増やすことと、100名以上の明石近隣の医師や看護師、ソーシャルワーカー、市役所、社会福祉協議会スタッフの方々とお知り合いになれたので、連携して、更にふくやま病院でできることを探して、実践することです。

僕の「総合診療医が、小病院で勤務したら」は、上記の感じです。

僕は、クリニックや、小中大病院で働いたり、様々な経験をしてきました。小病院では、今までの経験が、生かせて、非常に楽しいです。色々なセッティングで働くのは、総合診療医としては、とても有益で、小病院で特に生きるのではないかと感じています。興味ある方、お声がけください。

まだまだ、書きたいことが、ありますが、お会いできた際に、お話をさせて下さい。今後も、よろしくお願いいたします。

特集2：地方会情報 第38回 JPCA 近畿地方会：あと2カ月！

川島 篤志(福知山市民病院/福知山市)

市立福知山市民病院 総合内科→第38回 JPCA 近畿地方会 大会長の川島 篤志です。

前回のニュースレターでも報告してもらいましたが、11月30日(日)に地方会を開催します。基本的にはオンライン開催で、現在25演題登録頂きました！ありがとうございます。

この地方会、「ニーズに寄りそう、ちょうどいい地方会」とさせていただきました。専攻医の先生方にとっては、「発表の機会」を準備しました。事前収録からの当日質疑応答になりますので、ぜひ地方会参加の皆さまには、暖かい議論をお願いしたいです(できれば「では座長から…」がないといいですね)。

Off the Job トレーニングのセッション(教育・研究・マネジメント)も充実しており、近畿だけではなく全国にも門戸を開きますので、ぜひ早めに申し込みをして下さいね。

総合診療に興味をもつ初期研修医や医学生に対しての企画が目白押し…ということではできなかったのですが、比較的安価な参加費（500 円）で専攻医の先輩の発表の雰囲気、また午後からハイブリッドで開催される「身体診察」の講演をみてもらえるといいかなと思います。実行委員長の稲岡 雄太先生がつくってくださっている地方会 HP には、専門研修プログラムが掲載されていますし、JPCA 近畿の取り組みも見られるようになっています（まだ施設紹介を募集していますので、プログラム関係者の方はぜひご連絡下さい）。

さて、地方会では多職種の交流を深めたいと思っていました。アレもコレも…は難しいと思いながら、認定薬剤師・看護師の方の協力を得て、午後からは福知山で、北近畿の医療者を主体とした交流の場を開催します。

「何をしているの?? 認定薬剤師・認定看護師・専攻医・認定医・専門医?」という仮題で、2 時間たっぷりお話しできればと思います。HP にも認定薬剤師・看護師の情報もありますので、これをキッカケにもし周りに JPCA の非会員の方がおられたら、一緒に福知山まで行ってみよう! と誘ってもらえたら嬉しいです。鴨鍋での懇親会目当てでも結構です。今後の案内にも注目して下さい!

HP は「JPCA 近畿地方会」での検索でそれなりにヒットするのではないかと思いますし、学会 HP の「地方会情報」や「単位取得関係」でもたどり着くと思います。ご笑覧下さいね。 <https://sites.google.com/view/pckinki38/>

1 つ寄り添えなかったのが…参加費でしょうか?（今回の地方会がある意味トライアルで、次回以降の参加費軽減を意識しています）。今回の地方会の早期申し込みの締め切りが 10 月 30 日になりますので、ぜひ早期参加登録をお願いします!

皆さまの参加を楽しみにお待ちしております!

報告：第 16 回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会 in 北海道 近畿から参加した人たちの「生の声」

第 16 回学術大会参加ありがとうございました! 6 月の北海道は気候もよく、内容も素晴らしかったですね。会場で出会った近畿からの参加者の声を取材しましたので紹介させていただきます。



第16回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会 in 北海道 近畿から参加した人たちの「生の声」



例年に比べて盛況であり、セッションの数も多くて満足した。次回以降の学会では自分も発表しようという気持ちになった。

30代 男性 診療所副所長

北海道というなかなか行けない土地で、プライマリ・ケアを担う同じ目線で活躍している方々と時間を共有することができて大変有意義でした。

大島民旗 60代診療所医師

直接会うことで偶然のご縁が生まれ、またこれまでのご縁もさらに深めることのできる場でした。たくさん刺激をいただいたので、また今日から楽しんでいきたいと思っています。次回の学術大会も素敵な場となるようにしていきたいです。

稲岡 雄太 <合同会社ひとまラボ> 40代 男性
スープカレーは飲み物です。

仲間の発表やセッション、また関心のあるセッションに参加し、刺激をもらえた。質問もできてリアル最高! 濃密な2日間で楽しかった! 医療資源の乏しい地域京都北部での総合診療研修待ってます!

玉木

学会はやっぱり楽しい! 仲間との再会が診療モチベーションを上げてくれます!

小林正宜 (葛西医院)

楽しかったです! お祭りみたいでした!

ふじくん (西淀病院) 30代男性 病院勤務
初期研修医

人生は経験です。失敗した経験も嬉しかった経験も人生を豊かにする。学術大会で発表すること、学ぶこと、出会うこと、気づくこと、その全ての仕草や熱量が尊いなと思いました。JPCAにはそういう場を可能にする力と品格があるな、そう思われる学会でした。

おっくー

本当に大盛況でしたね。何人かの方々に久しぶりに対面で会えました。研修プログラムの管理事務局として業務に活かせるものをゲットしました。来年はゆったり参加したいと思います。

吉倉正：西淀病院研修担当事務さん

最高でしたね。ほとんど教育セッションに参加せずに、対面ミーティングしたり、プログラムポスター前で、色々な方と立ち話してました。年代ごとの楽しみがあっていいですね。新千歳空港は、一番好きな空港の一つで、ラーメン道場で、ビール飲みながらラーメンを食べて、美味しいソフトクリームを食べながら、飛行機の時間を待つのも、学会とセットですね。（患者さんにはとても言えない。。）次回の札幌大会では、新千歳空港とコラボしてほしいです。

テツボン

I gave an oral presentation during International Session ①, held on the morning of Saturday, June 21. Although I have presented at various academic conferences, the JPCA International Session stood out with its lively exchange of questions—it was truly vibrant. As a presenter, I found the experience both exciting and thrilling, and I thoroughly enjoyed it.

Yoko Maeda from Seishokai Medical Corporation

色んな分野の興味深い発表があって、楽しかったです！

AAA

コメント、いただきましたみなさまありがとうございました！

報告：Dr 体験プロジェクトについて

松島 和樹 (川崎病院/神戸市)

いつもお世話になっております。神戸総合診療・家庭医療プログラムの松島です。今回は私が関わっているドクター体験プロジェクトのご紹介をさせていただきます。

プロジェクトのきっかけですが、もともと近畿ブロックの研修支援活動に医学生にも参加してもらっていました。その中で「医学生の実習先に、JPCA に所属しているプライマリ・ケア医が少ない」ことが課題として取り上げられたことをきっかけに、2022 年夏にプロジェクトを開始しました。以降、2023 年夏、2024 年夏、2025 年春、2025 年夏に実施しています。

対象者は近畿圏内の医学部医学科 1～4 年生です。学年 LINE などでも広報を行い、申し込みフォームに記入いただきます。場所や日程、見学したい内容などの項目が合う医療機関とマッチングを事務局が行い、実習に進んでいただいています。

この夏は 27 箇所の医療機関が受け入れ可とご回答いただき、学生の申し込みは 12 名でした。さらに、直接医療機関に見学申し込みをされた学生も 1 名おられました。ご協力まことにありがとうございます。

申し込みの人数自体は、開始時から徐々に減少傾向ではあります。コロナの影響も薄まり実習を行いやすくなったことや、広報の充実度なども影響しているのかもしれませんが、ただ、参加いただいた学生からはとてもよかったというフィードバックをいただいています。

大学教育の中での総合診療の割合は増えてはいますが、実際の現場を見る機会はまだまだ少ないと思われます。より早期から、私達がやりがいを持って働いている姿を見ていただくことが重要だと考えています。

このプロジェクトが続けられているのは、近畿ブロックでお引き受けいただく皆様のご厚意の賜物です。繰り返しますが、本当にありがとうございます。今後とも宜しく願いいたします。

活動報告：「運動器の POCUS と、神経筋超音波検査のハンズオンセミナーIn 和歌山生協病院 2025」

福島 功士 (和歌山生協病院/和歌山市)

ポイントオブケアは、被検者の傍らで医療従事者が行うもので、検査時間の短縮および、医療の質と患者の QOL 向上につながるものであり、その重要性が高まっています。また近年、筋萎縮性側索硬化症（ALS）において、新薬の登場もあり、早期診断の重要性が認識され、神経筋超音波検査は、「筋萎縮性側索硬化症ガイドライン 2023」でも、補助診断としての有用性が記載されるなど、高い関心が寄せられています。今回運動器疾患に関わる超音波検査の、有用性やその方法について、広く知ってもらうことを目的に、8 月 23 日当院でハンズオンセミナーを開催、運動器 POCUS と、神経筋超音波に関する講義を 30 分ずつ、またハンズオンを 70 分ずつと、計 4 時間のセミナーを行いました。参加者は 14 名であり、医師、検査技師、看護師、医学生など多職種にわたりました。多くは当県からの参加でしたが、大阪、京都、兵庫県など多くの県からも参加いただきました。セミナー後のアンケートでは、総合評価で大変満足が 11 名、満足が 1 名（それ以下の評価はなし）という結果であり、「丁寧に指導いただきとても勉強になりました」など好意的な意見が多くみられました。ただ日時や会場への案内、受付などでスムーズにできなかった点も多々あったため、今後も参加者の意見を踏まえつつ、ブラッシュアップを加え、次年度以降の開催につなげたいと思います。

個人活動報告：WONCA APR 2025 釜山、そしてフィリピン

朝倉健太郎(大福診療所/桜井市)

期間：2025.4.24-27

みなさんは WONCA：世界家庭医機構 <https://www.globalfamilydoctor.com/> をご存知でしょうか？正式名称は、World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners/Family Physicians なのですが、あまりにも長く、通常、WONCA という愛称で親しまれています。1972 年に設立された WONCA は、世界の家庭医療を推進し、国際的なネットワークを強化する中で家庭医を育成し、多くの国と地域に質の高いプライマリ・ケアを提供することを目指しています。我々が日本プライマリ・ケア連合学会もこの WONCA に加盟しており、JPCA 新家庭医療専門研修プログラムは世界標準を満たした WONCA 認証のプログラム制度となっています。

その活動は 7 つの大きな地域に分けられているのですが、日本を含めたアジアは Asia Pacific Region (APR) に所属しています。各地域で毎年学術大会が開かれ、数年毎に World WONCA として世界大会が開催されます。2025 年 4 月には、隣国、韓国釜山にて学術大会が開かれました。因みに、2019 年には京都で WONCA APR が開催されたことを記憶している人たちも少なくないでしょう。また、2025 年秋にはポルトガル、リスボンにて世界大会が開催される予定です。

WONCA APR には、その地区に所属する国々、地域の家庭医たちが集い、幅広い議論、交流を行うのですが、2025 釜山も大変盛り上がりました。特に APR は、アジア文化圏に興味のあるヨーロッパ各地、アメリカ、アフリカなどからの出席者も少なくなく、文字通り、インターナショナルな交流があることも大きな魅力といえます。

医療やプライマリ・ケアは、その国の政治や医療・介護システム、文化背景に大きく影響を受けますが、一方で、年々増大する医療費、高齢化の問題、複雑な社会背景、社会構造に起因する貧困、貧富の差は、程度の差こそあれ、世界共通の問題といえるでしょう。Social Determinants of Health：健康の社会的決定要因の視点から、社会背景に

も目を向ける必要性について、様々な分野で議論されていました。日常診療から抜け出し、国際的な視点で世界の課題を見渡してみることで、大きな学びを得られるかもしれません。

次回の WONCA APR は、2025.3 末、フィリピン、イロイロにて開催される予定です。どうぞ、ご検討下さい！

<https://www.wonca-apr2026.ph/>

KPCA 薬剤師ワーキンググループ報告：JPCA 近畿薬剤師サマーミーティング

増田恵亮（春日野薬局福島店/大阪市）

2025 年 8 月 8 日、JPCA 近畿薬剤師サマーミーティングを開催しました。今回のテーマは「第 16 回 JPCA 北海道大会のふりかえり」で、参加者は 8 名でした。

現地参加時に印象に残った内容や、オンデマンド配信で心に残った演題などを各自が紹介し、大いに盛り上がりしました。

私自身の印象に残ったのは、担当者として実施した薬剤師交流会です。急な開催だったため告知が十分にできませんでした。当日には約 50 名の方が参加してくださいました。その後も Web でイベントを行うきっかけとなり、有意義な会となったことを大変嬉しく思います。

来年の学術大会は京都での開催です。もし再び薬剤師交流会の機会をいただけるなら、しっかりと告知を行い、100 名の参加を目指したいと考えています。大会を盛会にするため、近畿薬剤師 WG としてもミーティングを重ね、何か取り組みを行っていきたいと思います。

今回のサマーミーティングには仕事の都合で遅れて参加しましたが、各自が無理のない範囲で関わっている点は近畿薬剤師 WG の魅力です。少しでも興味を持たれた方は、気軽にご参加ください。



お知らせ：今年度も KONPass を持って研修を乗り切ろう！

長 哲太郎（コープおおさか病院 OCGFP/大阪市）

近畿ブロックでは、毎年度ごとに、専攻医および指導医向けに研修サポートをする有料サービス（KONPass：Kinki Official Navigation Passport）を用意しています。

<https://konpass2025.peatix.com/view>

パスポート購入者は近畿ブロックのイベント参加、近畿ブロックの教育資料、歴代優秀ポートフォリオへのアクセス、コミュニティの加入、オンライン指導の特典がつきます。年会費は 3000 円と大変お得な内容になっています。

購入特典：

○三大イベント参加

- ・春のスタートアップ（2025 年 5 月 24 日）
- ・定期的なポートフォリオブラッシュアップ
- ・冬のポートフォリオ発表会（2026 年 2 月頃）（通常は 2000 円のところ無料に！）

○教育動画コンテンツへのアクセス

○特別なコミュニティへの加入（Slack）：ポートフォリオ記載における文献リストなど

○バーチャル医局を用いたオンライン指導

今年度も、KONPass を持って、研修の荒波を乗り越えていきましょう！

お知らせ：2026年2月11日 P-FES 2026 開催決定

竹内 崇（たいしょう生協診療所／大阪市）

毎年、近畿各地の専攻医や多職種の皆さまにご参加いただいている「近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会（P-FES：Portfolio festival）」。第 18 回となる今回は、2026 年 2 月 11 日（水・建国記念の日）に大阪医科大学にて開催いたします。

昨年度は久しぶりの現地開催となり、直接顔を合わせて学ぶ意義や交流の豊かさが高く評価されました。その声を受け、今年度も現地開催を基本とし、一部オンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施します。会場の熱気や双方向の対話を大切にしながら、学びと交流の時間を共に過ごせれば幸いです。

本会では、専攻医によるポートフォリオ詳細事例報告の提出と当日の発表をお願いしています。指導医や他職種からの多角的なフィードバックを得られるまたとない機会です。さらに、優秀賞ポートフォリオの発表、スペシャリストによるレクチャー、交流企画など、多職種が楽しみながら学べる場を準備中です。

【発表者募集】

対象：JPCA 近畿ブロック専攻医／全国の多職種

登録期間：2025 年 11 月 4 日（火）～12 月 5 日（金）

ポートフォリオ事例報告提出：2025 年 12 月 25 日（木）

【聴講参加】

受付開始：2025 年 12 月 17 日（水）

オンライン視聴は一部会場に限られます。

なお、本会は日本プライマリ・ケア連合学会の単位取得が可能です。託児所の利用も可能ですので、ご希望の方は後

日送信する登録アンケートよりお申し込みください。

まずは日程をご確保いただき、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お知らせ：ポートフォリオブラッシュアップにご参加を

東本晃尚（OCGFP/大阪市）

私は大阪家庭医療・総合診療センター（OCGFP）専攻医 3 年目の東本晃尚です。今年度 8 月から新たに始まった企画「P-BUS（ポートフォリオブラッシュアップ企画）」についてご紹介します。

前年度までは、P-FES（ポートフォリオ発表会）に向けて PF（ポートフォリオ）を完成させるため、年 1 回指導医と考察を深める機会として設けられていました。しかし今年度からは、月 1 回・オンラインで継続的に取り組むスタイルに変わりました。

P-BUS では専攻医が現在進行形で対応している症例を題材とし、PF の「種」になり得るかどうか、また「種」から完成度の高い PF に育てるために必要な対応を皆で検討します。自身のプログラム以外の指導医からアドバイスを受けられるだけでなく、AI を活用して考察を深める点も特徴です。

日々の臨床でモヤモヤしている問題をそのまま題材にできるため、翌日からの診療に応用できる知見が得られます。

また「種」の段階から指導医と相談することで、より質の高い PF 作成につながることを期待されます。

現在は毎月第 1 木曜日の 21 時～22 時に開催しています。症例に悩む専攻医の方や、AI を取り入れた新しい学びに関心のある指導医の先生方のご参加をお待ちしています。

ポッドキャスト

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康先生
- # 2 木戸友幸先生
- # 3 中山（畔田）明子先生
- # 4 雨森正記先生
- # 5 鈴木富雄先生
- # 6 松井善典先生
- # 7 竹中裕昭先生
- # 8 三澤美和先生
- # 9 専門研修をはじめたばかりの 3 人の専攻医
- # 10 吉本清巳先生、および第 35 回近畿地方会の実行委員会のみなさま
- # 11 大島民旗先生、川島篤志先生、稲岡雄太先生（第 36 回近畿地方会大会長他）
- # 12 武田以知郎先生
- # 13 廣西昌也先生、梶本賀義先生 第 37 回近畿地方会 in 和歌山
- # 14 角田秀樹先生 米国研修便り

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。

ぜひ一度お聞きください。



<https://podcasts.apple.com/gb/podcast/legend-of-gp-in-kpca/id1583573369>

その他：今年は代議員選挙の年です！

●2025 年 10 月 14 日より代議員立候補受付です

2026 年・2027 年の役員選挙が、代議員選挙を皮切りにはじまります。代議員は、理事の被選挙権はじめ、学会運営の基礎となるもので、各支部活動の活動補助金も代議員数に応じて決まります。

本学会では、理事選出におけるクオータ制導入など、多様な立場・意見をぜひ学会に反映したいと考えています。ぜひ積極的参加をお願いします！

https://www.primarycare-japan.com/assoc/about/ab_20262027senkyo/#content02

代議員を務めている先生方から、代議員立候補へのすすめの声をいただきましたのでご覧ください。

代議員になるまでは単に学会に所属しているという受け身姿勢でしたが、代議員になってからは学会活動を通じて多様な職種の方と意見交換する機会が増え視野が広がりました。自身のモチベーションアップに繋がっています。

(50 代 女性 病院薬剤師)

国の政治と同じで自分の関わる分野を良くするには、直接的に意見を出すことのできる影響力を少しでももつことが大切だと思っています。代議員どおしの議論は自分の成長にもつながり、今自分が何ができるのか考えるきっかけにもなります。代議員になってものすごく大変な仕事はないので、ぜひ一緒にこの領域をよくしていきましょう。

(医師)

代議員になってから企画に関わる機会をいただき、普段の臨床現場とは違ったやりがいや達成感を感じています。

(50 代 女性 病院薬剤師)

近畿の中だけ見ても、それぞれの地域の特性は大きく異なります。前回、代議員活動を通じて他の地域を見学する機会が作れました。薬剤師のバックグラウンドを持った代議員が増えれば、できることも増えていきます。難しくはありませんので、ぜひご検討ください。

(30 代 男性 薬剤師 大学勤務)

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎 (大福診療所／桜井市)

近畿ブロック ニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。

3 ヶ月毎、年 4 回の発行を行っており、本誌 2025 年夏号は 48 号にあたります。

引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができればと考えております。

ニュースレターの編集にご興味のある方、一緒に面白い記事を作成してみようかなと思った方は、編集部 kentaroasakura@gmail.com 朝倉 までご一報下さい。

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之

編集後記

今回も近畿の盛りだくさんな活動をお届けしました。編集していつも思いますが、近畿支部の活動も WONCA など世界的活動から、地域の勉強会まで、職種・年齢も幅広い学会の多様な姿をみることができる内容で素晴らしいですね。近畿としては、来年の学術大会が京都ですのでさらにみなで盛り上げたいところです。

また編集中に、WONCA2029 世界大会が日本開催のビッグニュースが飛び込んできました。これも京都開催ですのでいまから楽しみです！ （担当 H）